

次世代代理店システム「ABCシステム」について

2003年1月24日

あいおい損害保険株式会社(社長 瀬下 明)、株式会社損害保険ジャパン(社長 平野 浩志)、日本興亜損害保険株式会社(社長 松澤 建)の3社は、次世代Web型代理店システムの共同開発に向けた検討を2002年4月から進めてまいりましたが、この度、本システムの名称が決まりましたのでお知らせいたします。また、あわせて各社の取組状況もご報告いたします。

今後も引き続き本システムの機能の向上に努めると共に、3社システムの共通性を活かし運用面での共同化・効率化を検討してまいります。

1. 次世代代理店システムの名称

本システムの3社統一名称として、「ABCシステム (Agent Business Cooperative System)」を用います。なお、この名称は「各社代理店システムの呼称 + Powered by ABC」の形で使用することとし、システムの基本部分を3社で共同開発・運用していることを明示してまいります。

2. ABCシステムの概要

3社が共同開発するABCシステムは、各社システムの機能、画面識別の独自性を保ちながら基本的な操作性・画面設計・運用方法等の共通化を実現します。共同開発により、代理店に対して拡張性・接続性・操作性の優れた次世代代理店システムの提供が可能となり、各社開発期間の大幅な短縮とコスト削減が図れることとなります。

< 1 > Web技術の採用

Web技術の採用により、契約データなどをサーバー上に展開し、高速なレスポンス・操作性を保証。インターネット接続環境を用意するだけで、業務を始めることができる初期導入の簡易性を実現します。また、同時に保険会社にとってはメンテナンス性の向上が可能となります。

< 2 > 画面・操作性及び認証の3社共通化

代理店の利便性を高めるため、顧客契約管理・成績管理・自賠償管理等の各機能について、3社の画面や操作性の共通化を実現します。また、代理店認証のID・パスワードを共通化します。

< 3 > 開発・運用における共通化

共同開発によるメリットと個社の販売戦略上必要な独自性を両立させるため、システム開発において以下の方式を採用します。

システムインフラ(基盤)は、3社で共通設計を行ったうえで、各社毎のシステム構成とします。

アプリケーションを共通部分・個社部分に分離し、共通部分はもとより、個社部分についても仕様をできる限り共通化することで、開発の標準化を図るとともに、今後のメンテナンス性を高めます。

* ABCシステムの概要は、別紙をご参照下さい。

3 . 各社の取組状況

A B Cシステムの稼働開始は、2 0 0 3年7月より順次予定しております。
各社の現在の取組状況は以下のとおりです。

< 1 > あいおい損害保険

A B Cシステムを、専業代理店、自動車販売店を除く代理店向けに展開いたします。
専業代理店向けには、会社事務の一部を代理店に委託する代理店システム（I O N O S）
を2 0 0 3年5月より展開いたします。また、自動車販売店等には、既に展開してあり
ます代理店システムを更に機能拡大してまいります。

< 2 > 損害保険ジャパン

既に展開しているWe b型代理店システム「S O M P O J - N E T」を本システムと
融合し拡張してまいります。

< 3 > 日本興亜損害保険

A B Cシステムを現行We bオンラインシステム「N K ネット」と融合してWe b型の
総合代理店システムとし、「N K ネット」導入代理店を中心に順次展開を開始します。

以上

「ABCシステム」の概念図

